



①1階と2階にそれぞれシングルベッドが2台。趣ある空間は心も体も休まる。②「和食だけでなくイタリア料理とコラボした企画も考えています。天野の食材を活かして、いろんな味を提供したいですね」とりこさん。③宿の食事は、料理人が織りなす本格和食や、りこさんと料理上手な母親との合作による家庭料理が一品一品運ばれてくる。④書斎をリノベーションしたスペースで読書などを楽しみながらゆっくりと過ごせる。⑤画家であった祖父の画号が南峰だったことから宿の名を「南峰庵」に。



「自然豊かな天野。飽きない景色を眺めながらゆっくりと過ごしてほしい」。りこさんの笑顔にも癒される。

### 南峰庵 周辺のこと

①カフェ客殿のランチでは、天野米を使ったおむすびが人気。②カフェ客殿に併設する「天のテラス」は、ジビエのホットドッグやホットサンドがテイクアウトできる。りこさんのもう一つのフィールド。③2022年春には蔵を改装した土産物店がオープン予定。地元在住の陶芸家や革職人の作品などを販売する。④「客殿さんは、当社の客殿を管理していただいた家柄なんですよ。そんなゆかりの深いお二人が、神社の近くでカフェや宿を営んでくれるのは、なんだか嬉しいですね」と話す丹生都比売神社の丹生宮司。



## 心地いいおもてなしに笑顔が溢れる里山のお宿

お宿 なんほうあん 南峰庵 オーナー ● きやくてん 客殿りこ

真言密教の聖地・高野山に繋がる町石道の中程、天野盆地に鎮座する丹生都比売神社。その近くにあるのが、故郷の実家のように寛げる宿、南峰庵だ。切り盛りしているのは客殿りこさん。生まれも育ちも大阪だが、天野は第二の故郷ともいえる場所。長い休みには、宮大工であった曾祖父が建てた家で祖父母たちと過ごし、時には数か月も滞在し、天野の小学校に通っていたこともあったという。

南峰庵の開業のきっかけは8年前。りこさんの母親が、「カフェ客殿をオープンしたことに始まる。りこさんは忙しい母親のカフェを手伝うために、再び天野へ通い始めることに。母もやはり、曾祖父が建てたその家が好きだったんですね。元々、私は接客業が好きで、そんなアルバイトばかりしていました。母のカフェを手伝っているうちに、私も大好きな天野で何かを始めたくまりました。しかし何をすればいいのか、迷っていたところ、天野の空気感を感じられる宿があればいいのにね」と話すお客様の声を聞き、心からのおもてなしができる宿を作りたいと思うようになり「南峰庵」を作りました。そして巡り合ったのが、カフェ客殿の斜め向かいにあった二軒の古民家。「床は抜け落ち、雨漏りもするし、その上雑草だらけ。でもここでお客様をお迎えする自分の姿が浮かんで来たんです」。しかし宿泊施設での仕事は未経験。開きさま修業のためにホテルで働き始め、開

●お宿 南峰庵  
住所／伊都郡かつらぎ町上天野160  
電話／080-1514-4351  
料金／1泊2食付き(朝・夕)大人1名18000円・小学生1名9000円  
※1日1組限定3～8名利用可能・5名以上の場合1人17500円(全て税込)  
http://nanpoan.xyz/

業準備を進めたという。そしてようやく2021年に南峰庵をオープンした。「宿泊の時、お客様は、帰郷したようだとおっしゃってくれます。また昔からおじいちゃんおばあちゃんが好きだったので、お年を召されたお客様が泊まりに来ると、ついつい孫のように接してしまい、仕事を忘れて長話をしてしまうことも」と微笑みながら語りこさん。「おかえりなさい」と家族のようなお出迎え。その言葉に心がほっこりする。とりこさんが増えてきているという。

### 四季折々の風景 神と仏が習合する かつらぎ町天野



高野山の麓、標高450mの盆地に広がる天野の田園風景は「にほんの里100選」に認定されている。また美しい水と豊かな土壌で作られた米は「天野米」と呼ばれ、人気を博している。世界遺産に登録されている丹生都比売神社をはじめ、貧女の一燈で有名なお照の墓など、高野山ゆかりの伝説や史跡など見どころも多い。